

図書館だより②

2017年5月9日発行
那覇市立鏡原中学校図書館

新しい本

図書の予約が可能となっています。人気の本は予約をしないと入手できません。ぜひ予約をしてみてください。本が届いた時、図書委員がお知らせの紙を届けます。



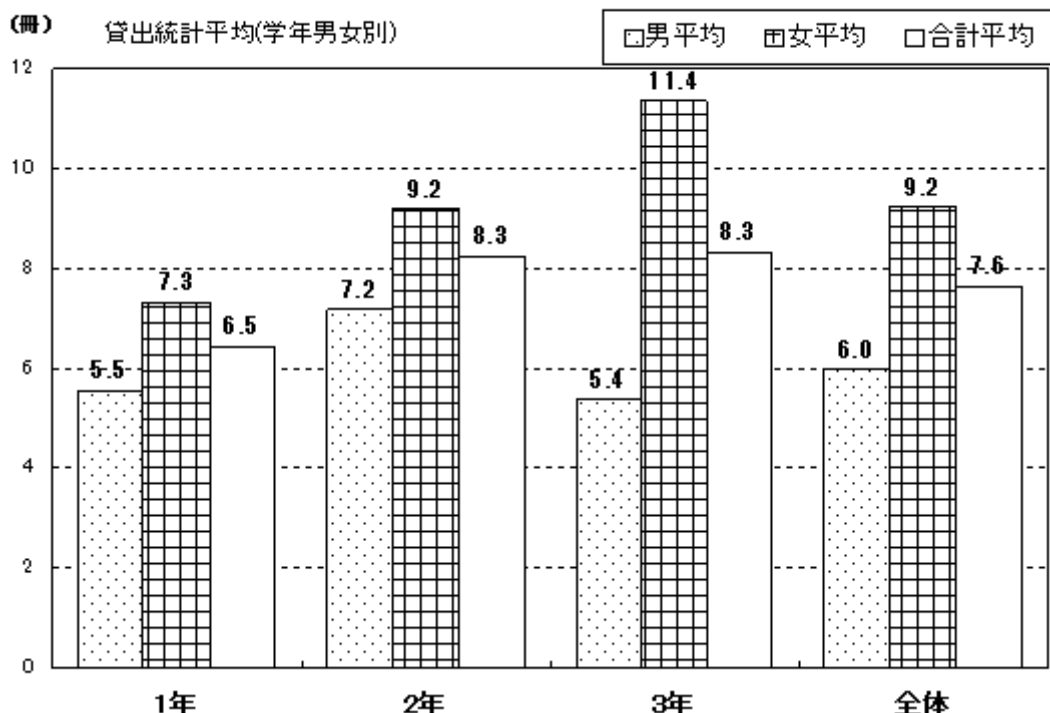
貸出状況 (全学年)

2017/04/01 ~ 2017年4月30日

1. 学年別・男女別 貸出冊数

学年	1年	2年	3年	合計
男	554	618	545	1,717冊
女	783	919	1,101	2,803冊
学年合計	1,337	1,537	1,646	4,520冊

2. 学年別・男女別・一人平均 貸出冊数

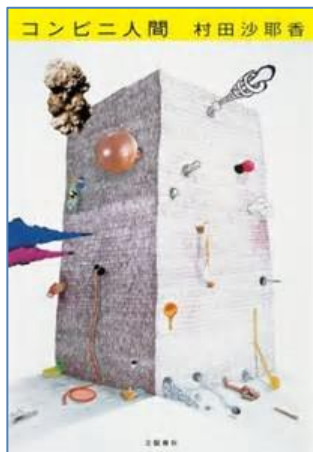


まだ1冊も本をかりていない人(0冊の人)が

21人います。 早めに図書館で本をかりるようにしてください。

今年度から一年間の目標冊数を50冊から40冊に変更しています。一年間で40冊読むイメージができていますか？ 月5〜7冊、週に1冊から2冊読めば楽々達成できる量です。月曜日の朝読書の時間も活用して、たくさん本をかりて下さい。

今月のオススメ本



村田 沙耶香作

『コンビニ人間』

食べるのはコンビニ食、夢の中でもコンビニのレジを打ち、バイトを続けて18年。でもその生活こそが彼女の安息の日々だった…。

「社会の歯車」というテーマからは、チャップリンの有名な映画や、ロボットもののSF短編小説などを連想してしまいがちなのですが、現代の日本社会を表すとするならこれほど簡潔な単語はないな、と読みながら目から鱗でした。コンビニ。もう少し前なら「カイシャ人間」でも通じた気がします。でも、学校という場から一歩外に出ると、東大を卒業した才媛ですら追い詰められてしまう現実がある。安心していただける場所がほしいだけでも、ちょっと人とズれていると、すぐに今いる場所から弾かれてしまうような不安感がある。そんな時代だからこそ、とても変わった人に思える主人公の生き方を見て、共感を覚えるのかも……？ 又吉直樹『火花』に続く、第155回芥川賞作品で、2017年本屋大賞9位の作品です。最近の芥川賞作品は読みやすいので90分前後あれば一気読みができます(私が中学生の頃の芥川賞作品と言えば平野啓一郎の『日蝕』……漢字を読むのすら苦労した記憶が……)。ぜひ手ににとって読んでみてください。

(文責：うえはら)

★ 毎月第3日曜日は「ファミリー読書の日」です。
ご家庭で、親子で、本に親しむ機会を作りましょう。 ★

5月の読書目標

『朝の読書活動を
定着させよう。』

